



午前11時35分 開会

○分科会委員長（佐々木雄司君） 皆さんお疲れさまでございます。

改めまして、ただいまから予算審査特別委員会産業建設分科会を開会いたします。

これから分科会の審査に入らせていただきます。

当分科会の審査対象は、議第73号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第7号）のうち産業建設常任委員会所管部分であります。

まず、産業振興部関係の予算から審査を行いたいと思います。

補足説明がありましたらお願いいたします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） それでは、産業振興部の予算審査特別委員会産業建設分科会資料を御覧ください。

これは1ページしかございませんので、1ページを御覧いただきつつ、まず歳入のほうの御説明です。

補正予算書の12、13ページの17款県支出金、2項県補助金、4目農林水産業費県補助金、それから補正予算説明資料の2ページ、3ページを併せて御覧ください。これ、補正予算紙上は2、3ページの真ん中辺より少し下の辺になります。

機構集積協力金として334万4,000円が県から入ります。

それから、歳出でございますが、同じく補正予算書の22、23ページの真ん中あたり、6款農林水産業費、1項農業費、3目農業振興費、補正予算説明資料は8ページ、9ページの下のほうを御覧ください。

県からの補助金を機構集積協力金として334万4,000円計上させていただいております。制度の御説明でございますけれども、国の農地集積・集約化対策事業を活用しまして農地中間管理機構を通して地域の担い手へ農地を集積、集約した場合に、地域に対し機構集積協力金が交付されます。当該事業により、地域の担い手へ農地集積、集約化を促進し、荒廃農地の発生防止や農業生産性の向上が期待できるもので、このたびは津崎地区より事業活用の要望がございまして、それに対応するものでございます。

先ほどの産業振興部の資料のほうですけども、カラー刷りのものですね、これですと、まず上のほうですけども交付単価というものがございます。機構の活用率、これは今表を見ていただいて、区分1、2、3、4とありますけども、区分が3になります。今回、津崎地内では全圃場が16.7ヘクタールございますが、15.2ヘクタール、これを圃場整備されまして、全体の約91%ですので、区分3の70%超えというところになります。交付単価が2万2,000円、10アール当たり2万2,000円になりますけれども、これを15.2ヘクタールで計算しますと334万4,000円になります。そういった考え方で数字のほうを計算しております。

以上で一般会計補正予算（第7号）農林課分の補足説明とさせていただきます。

○分科会委員長（佐々木雄司君） すみません、今課長のほうで説明資料のページ数などをお願いをする前に言っていたいたんですが、改めましてお願いをしておきますが、説明は補正予算書及び説明資料のページ名を言ってから行っていただきますようお願いいたします。すみません、先ほどお願いが抜けておりましたので、申し訳ありません。

産業振興部の説明が終わりました。

これから質疑を受けたいと思います。

委員さんのほうで、この件について質疑がありましたらよろしく願いいいたします。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 確認をさせてください。

先ほどの御説明で、津崎地区からの要望があつてこういったことをやるということですけども、今後赤磐市内全域でどういうふうに考えられてるんでしょうか。全体像をお願いします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいまの治徳委員の御質問でございます。

全体的にと申しまして、一度区長会のほうでこういった事業がございますというのは御説明申し上げております。それで、今後やはり圃場整備などをされていくところがあると思うんですけども、耕地事業を入れていただくところには漏れなく機構のほうからも私どもからも御説明申し上げて、この事業を合致するように、使っていただくようお願いしていくつもりでございます。

○委員（治徳義明君） ありがとうございます。

○分科会委員長（佐々木雄司君） よろしいですか。

そのほかありますでしょうか。ございませんか。

○委員（佐藤武文君） ちょっと委員長、よろしいか。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） ちょっと理解ができないんで、もう少し詳しく説明をいただきたいんですけど、集約化の関係、70%というのはどういうことですか。70%の意味がよく理解できないんですけど、もう少し70%についての意味を教えてください。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいまの佐藤委員の御質問ですけれども、この機構の活用率っていう表があります。一般地域と中山間地域がございます、山陽地域は御存じのとおり中山間地域ではございません。一般地域を使っておりますけれども、区分がおっしゃるように今70%

超えというのは津崎地区ではありました。これは70%というのは何かと申しますと、津崎の耕地面積が16.7ヘクタールございます。今回この事業に利用される面積が、ちょうど圃場整備された関係でその面積になるんですけども、15.2ヘクタール、これを機構のほうに預けられるということで、機構のほうに地区内の農地を何%預けるかによって、この何%超えというところの区分になってまいります。15.2ヘクタールが16.7ヘクタールの91%ですから、区分3の70%超えのところへ合致するということになっております。

以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） よろしいでしょうか。

○委員（佐藤武文君） ありがとうございます。

○分科会委員長（佐々木雄司君） そのほかありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） ないようですので、これで産業振興部の質疑を終わりたいと思います。

それでは続きまして、建設事業部関係の予算の審査を行いたいと思います。

補足説明がありましたらよろしくお願ひいたします。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） それでは、議第73号について、建設課の関係で補足説明がありますので、担当課長より行います。

なお、上下水道課関係につきましては、水道会計、下水道会計、それぞれ一般会計からの繰出金のため、本会議場での説明のとおり、補足説明はございません。

以上です。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、議第73号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第7号）について建設課から補足説明をさせていただきます。

一般会計補正予算書22、23ページ、補正予算説明資料8ページ、9ページをお願いします。

6款農林水産業費、1項農業費、5目農地費としてため池ハザードマップ作成の事業費が確定したため委託料を300万円減額、正崎堰補修事業、ため池水位計設置事業に国、県の補助金の追加割当てがあったことにより、工事請負費を950万円増額する予定としております。建設事業部資料の1ページに水位計を設置する予定のため池位置図を添付しておりますので、御確認ください。

続きまして、予算書、同じく22、23ページ、予算説明資料10ページ、11ページをお願いします。

日古木大池の底樋管が破損しており、緊急で修繕する必要があるため、委託料を300万円の増額、工事請負費を2,000万円の増額をする予定としております。建設事業部資料2ページに位置図と現在の状況写真を添付しておりますので、御確認ください。

以上で建設課の補足説明を終わります。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 建設事業部の説明が終わりました。

それでは、これから質疑を受けたいと思います。

質疑ありませんでしょうか。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） ため池の水位計の設置について確認をさせてください。

御説明資料ではため池遠隔監視の水位計を設置すると、こういうことございますけれども、具体的にどういうふうな形になるのか、詳細を説明していただければありがたいですけど。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） どういう監視になるかという御質問だと思います。

水位についてのデータを携帯電話から確認できるというものを今検討しております。

以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 防災の関係があるんじゃないかに、市民も見えるということなんですか。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 今どなたでもというものを考えてはおりません。ため池の管理者であるとか地域の代表の方が確認できるというものを検討しておりますが、詳細については今後検討していく予定にしております。

以上です。

○委員（治徳義明君） ありがとうございます。

○分科会委員長（佐々木雄司君） よろしいですか。

そのほかありますでしょうか。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） ため池工事の関係についてお伺いしたいんですけど、本会議場でも山陽が3か所、赤坂が2か所、計5か所今回継続し実施するという事の中で、赤磐市全体でた

め池が696か所あるというような報告があったと思うんですけど、今回5か所ですから691か所ですか、あれば今後の計画について御報告をいただきたいと思います。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） ため池の水位計の今後の予定ですけれども、重点的に検討していきたいのは防災重点ため池に指定されております343か所のため池についてとなります。その343か所のため池についての今後の予定ですけれども、今回は要望したことによりまして補助事業の採択があったため設置をさせていただきます。このシステムが有益であることを確認することが必要だと考えますけれども、地元から今後強い要望があれば国、県に対して新たな事業要望を行っていくことも考えております。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 343か所の中で地元要望がなければ今後については実施をしないというようなことではなしと、計画的に事業というものは推進すべきではないのでしょうか。要は地元任せ、あなた任せで、市はもうあなた任せで知りませんというような考え方、やり方というのは、ちょっとそのため池というものに対する認識が私は低いんじゃないかなというふうに感じるんですけど、いかがでしょうか。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） ため池の343か所について、危険予知をすることは重要だと考えますので、今後につきましては下流の家屋、公共施設等への想定被害の大小、国・県の財政支援の状況を踏まえて補助事業の採択基準の範囲内で必要性を検討してまいりたいと考えております。

以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） いいですか。

そのほかありますでしょうか。いいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） ないようですので、これで質疑を終わりたいと思います。

以上をもちまして当分科会の審査は全て終了いたしました。

なお、委員長報告につきましては委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。それでは、そのようにさせていた

だきます。

皆様方には、本日は長時間にわたり大変お疲れさまでございました。

これで予算審査特別委員会産業建設分科会を閉会といたします。

お疲れさまでした。

午前11時52分 閉会